

2016/17 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



第 2596 回例会 2017 年 6 月 7 日 (水) | SAA (司会) / 高澤会員 会報担当 / 平野会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F | 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト
- お客様 鈴鹿シティRC 小川 一光様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄



皆さん、こんにちは。

本日のお客様は、鈴鹿シティクラブの小川一光様です。2ヶ月ぶりの来会となりましたのは、現場が成田に移動したからということです。今日は先ず、先週お話ししました「チバニアン」についての件ですが、今日の毎日新聞朝刊によりますと、本日国際学会に申請とあります。「果報は寝て待て」と言いますが、夢のある話では是非ともという期待感で一杯です。また、松野文科相も昨日の会見で「命名されれば我が国初の快挙。子供たちが科学に興味を持ち、次代の研究者が育っていくことを期待する」と述べられました。

さて、先週の例会にてご案内しました地域貢献基金規定の改正の件ですが、本日の理事会にて承認されました。改正されました規定は次年度の活動計画書に掲載しますが、先に皆さんにはメール等でお知らせいたします。主な改正点とは申しますと、次年度よりクラブの組織が変更されましたので、執行委員会が社会奉仕委員会から奉仕プロジェクト委員会に変更しました。また、基本的な執行総額は100万円から50万円に減額しました。これは、例会数の減少や年会費の減額が基金捻出にマイナスに作用するのではと想定されるためです。そして、基金の管理については、幹事から会計へと変更しました。そして、規定の改正については、理事会であったものをクラブ例会で採決することにしました。次年度からは、この規定により運用することになります。

ところで、本日のメインプログラムは、会員研修委員長の小池会員による卓話です。演題は、「シェルドンの奉仕の哲学」です。私は今日のために少し調べてきましたので、ご存知ない方のために少しお話しします。アーサーF. シェルドンは、ポールP. ハリスを助けてロータリーの基礎を確立した3賢人の一人で、有名な標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を創作しました。因みに、3賢人とは、このシェルドンと職業奉仕の重要性を強調したチェスリーR. ペリーと標語「Service not self(無私の奉仕)」のベンジャミンF. コリンズです。そして、シェルドンの墓碑にはこの標語が刻まれており、「ビジネスは全て社会に尽くす手段でなければならない」という信念とともに生きてきたとのことです。凄いですね。恥ずかしながら生臭い私には到底真似はできません、努力はしますが。

最後になりましたが、今年度もこの6月が最終月となりました。来週14日と再来週21日の二日間にわたり、クラブ協議会を開催します。その席上で、委員長や小委員長の皆さんに今年度の活動報告をしていただきます。各委員会の委員長や委員の皆さんには、活動計画書に記載された目的や計画に則って活動されていたかと思えます。有難うございます。そして、まだ進捗状況にある事案もあることと思います。そこで、活動報告については、結果だけでなく、未達になりそうな事案についての原因あるいは委員会における課題などについても報告していただけないでしょうか。ロータリーが単年度制なので次年度の計画とは異なってくるでしょうが、現年度における問題点や課題などを次年度の委員長・委員が承知しておれば、運営の一助になるのではと思うからです。次年度からは、組織体制が大きく変更されます。宜しくお願い致します。以上で、会長挨拶を終わります。有難うございました。

■幹事報告

1. 本日 11 時より 6 月度理事会が開催されましたので、ご報告致します。
 - (1) 地域社会貢献基金の改正(案)が承認されました。
 - (2) 2017-18 年度決議審議会クラブ提出議案承認の件につきまして 4 議案全て賛成となりました。
2. 第 6 回いちばら銀杏の会開催の案内が市原商工会議所から来ました。日時: 7 月 19 日 (水) 17 時より場所: 市原市市民会館 4 階 参加ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

■委員長報告等

万崎会員拡大委員長 会員拡大よろしくお祈りします。

始関社会奉仕委員長 社会貢献基金のまとめをいたします。
本郷次年度社会奉仕委員長 次年度社会貢献基金の募集が始まりました。

本日のメインプログラム

会員卓話

小池会員 「シェルドンの奉仕哲学」資料は次ページ以降に掲載いたしました。



◆◆◆◆◆ニコニコ・ソーリー◆◆◆◆◆

小川様 久しぶりの例会よろしくお願ひします。
山本会員 万崎さん演台のロータリーマークありがとうございます。
小池会員 卓話お聞きいただきありがとうございます。
西村会長・岡本幹事 小池会員本日の卓話ありがとうございます。

■出席報告 前々回確定 60.53%
本日出席率 63.16%
■点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄

シェルドンの奉仕哲学

2017.6.7

会員研修小委員会

小池清二

すさまい資本主義の自由競争の中で、毎日が過酷な日々が続き、孤独感と疎外感が募り、敗者にもなり得る中、なんでも話し合える仲間がほしいと、異業種の集まりとして、クラブが出来ました。

1905年、親睦と物質的互惠取引を旨としてシカゴ RC が創設されました。

1906年1月に制定された最初のシカゴ RC の定款には、第1節・会員の事業上の利益の促進、第2節・会員同士の良き親睦と明記されているところから、初期 RC には奉仕の概念は無く出発しました。

お互いの取引で会員は大きな利益を上げておりましたが、市民や会員からその活動を非難され、社会奉仕を取り入れるようになりました。

1908年にシカゴ RC に入会したシェルドンは、今までの物質的互惠取引を禁止する代わりに、自分が今まで研究してきた奉仕理念を RC に提唱致しました。このことにより RC は急速に発展していき、全米はもとより、全世界にその理念が浸透して拡大を見ました。

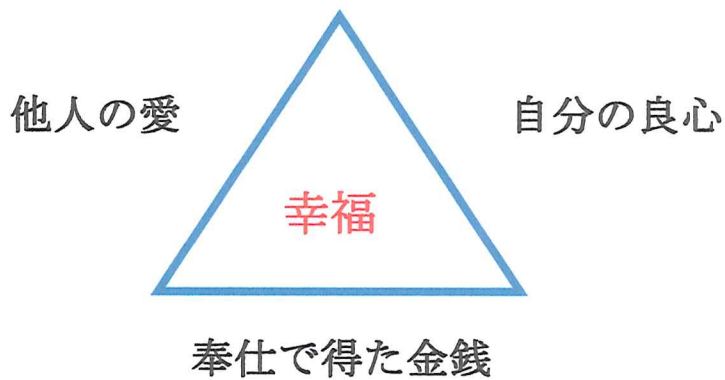
シェルドンの職業奉仕理念は継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営むことであり、会社経営を経営学の実践だと捉えて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考えました。さらに良好な労働環境を提供するには資本家の責務と考え、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引先に関係する人たちと適正に再配分することが、継続的に利益を得る方法だと考えたのです。当時のすさまじい資本主義からすれば、斬新的な考えでありました。1905年から1917年に起こった共産主義を救ったのはシェルドンの奉仕理念だともいわれております。

シェルドンの職業奉仕理念は、科学的かつ合理的な企業経営方法のことであり、シェルドンの職業奉仕理念に則った企業経営は顧客の満足度を最優先した方法であり、そのような事業経営をする事業所は、当然なことながら高い倫理を備えた事業所であるという結果が現れます。世に有用なすべての事業に従事することを奉仕と呼び、自らの事業を通じて、継続的な利益をもたらす顧客を確保することが、ロータリーの職業奉仕だということになります。

規定審議会において、*He profits most who serves best* がロータリーの奉仕哲学として採用されている以上、この考えを変えてはなりません。

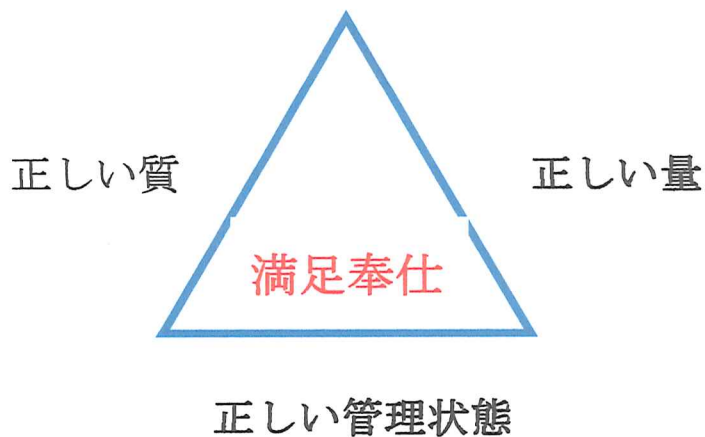
先ず、自分の事業を発展させることが、対社会的奉仕活動が可能になるのです。

シェルドンは奉仕理念を説明する時に先ず、**幸福の三角形**を説明しています。



社会生活において幸福と感ずるのは、金銭的な安定をベースにして、同僚からの愛を受けて、自らの良心を保つことである。幸福感は奉仕の実践で得た富であり、奉仕の重要性を説いている。

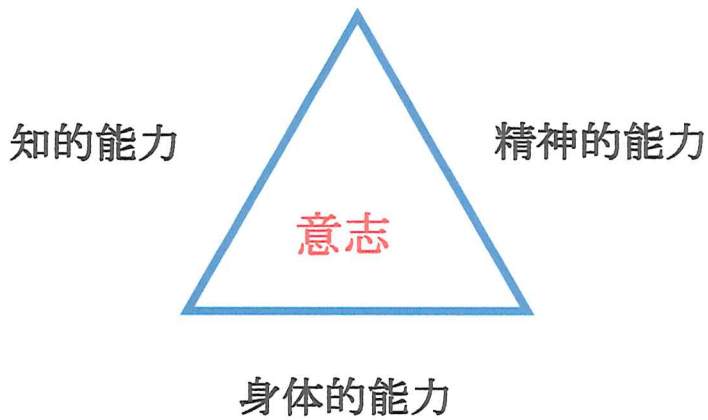
次に**奉仕の三角形**



奉仕の三角形は、物の価値を計る普遍的な基準だと考えられます。この三つの要素がそろって、初めて価値ある奉仕をすることが可能になります。

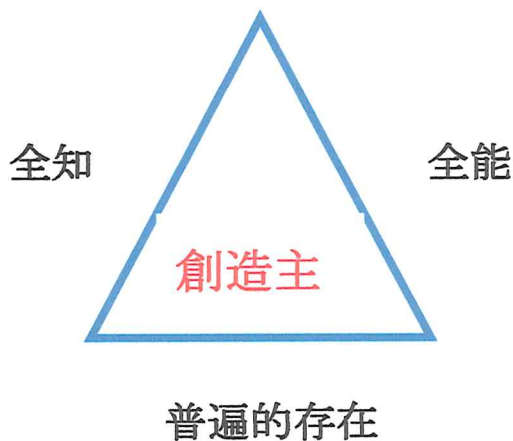
品物売るためには、品質の高い製品を作ることが一番重要です。次にいかに十分の量を作ることであり、次に管理の方法すなわち事業を営む人間の行動を正しく処理することです。良いセールスマンになろうと思えば、正しい「質・量・管理の方法」で商談を進めること。これはあらゆる業種に適用できます。このようなことが守られている店には、何度でも行きたくなるものです。リピーターが確保できます。

次に意志の三角形



幸福であろうと、正しい奉仕活動であろうと、それは左右するのは意志の力如何にかかっています。自らの強い意志の力を発揮しようと思えば、先ずその人が持っている認識能力がしっかりしたものでなければなりません。更に精神的な能力と肉体的な能力がしっかりしている必要があります。この三つの能力が一体となって初めて素晴らしい意志の力ができるのです。三身一体に似ていますね。

最後に創造主（神）



この世のすべては自然の法則によって定められているというのがシェルドンの考え方であり、それを「宇宙の摂理」と表現しています。その本元を Provider 創造主と表現していますが、God 神と訳してもよいと言っています。

シェルドンは人間関係学からも事業経営を説いています。

良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であり、そのためには、適正な報酬を払うこと、安全性、福利厚生、社会保障、快適な生活を保証すること、教育の機会を与えることが必要です。

従業員が雇用主に対する責務は、最善を尽くして働くこと、過失を最小限に抑えること、会社の管理運営に協力することです。雇用主と従業員がこの3種類の責務をお互いに果たすことが、会社の発展につながるのです。

資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引先に関係する人たちと適当に再配分することが継続的に利益を得る方法に繋がります。

企業がグローバル競争に勝つには、有能な正規雇用者をしっかり確保し、単なる労働力としての非正規雇用者やパートタイマーを低賃金で雇うことはシェルドンの理念に反する行為です。その代りに、従業員には、最善を尽くして会社の為働くこと、業務上の過失を最小限に抑えること、会社の管理運営に協力することを要請されます。

従業員が義務・責務・責任を遂行することで、権利・特典・特権という結果が得られます。商売に成功する方法は、継続的に利益をもたらす顧客を確保することです。一見さんでなく再三店に訪れる常連さんの顧客を得ることが事業の繁栄を約束できるのです。

経済的に成功する方法は、①いつも、価値ある奉仕を実践しようという願望をもつこと、②奉仕を実践に移す能力を開発すること、③開発された能力を実践活動に適用すること、④奉仕に対する適正な報酬を得ること、⑤奉仕の対価として得た報酬を貯蓄や活用や節約によって保全することが大切です。

シェルドンは1929年に出版した「奉仕の原則と保全の法則」の中で、初めて、得た利益を保全することの重要性を説いて、**He profits most who serves and conserves best** と従来のモットーに修正を加えています。

保全とは損失や危機から守ることで、保存する、節約する、保護することです。せっかく蓄えた利益を保全するために浪費を戒めなければなりません。時間も限りがあり、如何に有効に使うかがカギです。マンパワーも限りないエネルギーの保全に繋がります。大勢の浪費も多く、浪費を生みます。利益の保全は関係者の協力が欠かせません。

シェルドンは、前述の質・量・管理の方法をしめした奉仕の三角形は、インドの哲学者バガバン・ダス氏の **The Science of Peace** 「平和の科学」の本の中でヒントを得たと述べております。

平和の科学の中で言っているのは、宇宙は万物を支配する神の自然のエネルギーで支配されており、宇宙のすべての活動の基礎はすべて三つの因子で構成されているという、ヒンドゥー教の三元論が展開されています。

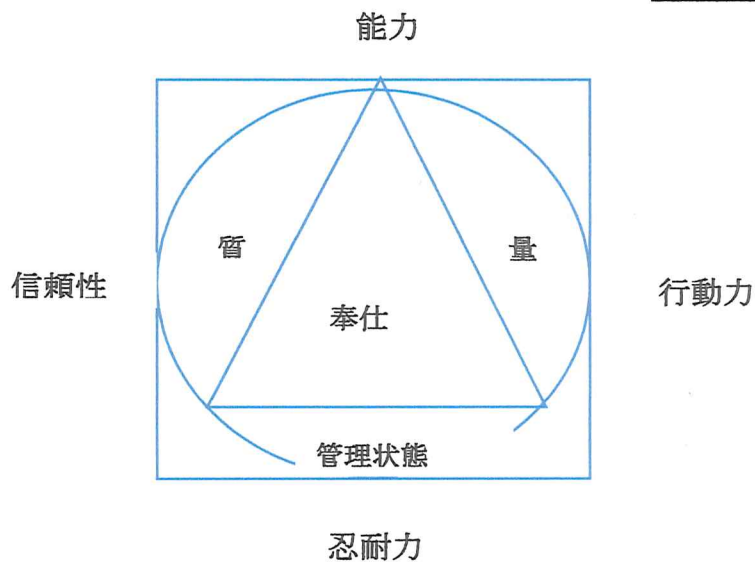
物質に対する評価は・・・増えたか、減ったか、変わらないか
精神的評価は・・・奔放か、狭小か、寛容か
身体の発育は・・・成長か、継続か、衰弱か
精神的には・・・追求か、あきらめか、無関心化

三つの状態を感じると述べています。

この三元論は古くカントに由来するものであるとのべられています。
シェルドンはカントの影響を強く受けており、奉仕理念を説明するにあたって、幸福の三角形、奉仕の三角形、人間力の三角形、原因の三角形を提示したものとされます。

1917年に出版された「経営学」の中で次のように書かれています。バガバン・ダスの「平和の科学」の中から質・量・管理状態という奉仕の三角形、更に言い換えればロータリーの奉仕理念を見つけだし、これを融合させて実行すると、上得意のお客の心の中に満足という精神的な状態を引き起こす奉仕の種類を作る要素を発見したと思わず万歳を叫んだと記しています。

最後にシェルドンの墓誌のマーク



ニューヨーク州のキングストンにある、シェルドンのお墓には **He profits most who serves and conserves best** と共に、質・量・管理状態を表す奉仕の三角形が刻まれております。この図柄は三角形が円で囲まれ、更にその周りを四角形で囲んでいます。四角の枠の各辺には、真の教育の要素が記されております。

真の教育とは知識を教え込むことではなくて、その人のあらゆる部分の守備範囲を広げて、持っている潜在的な能力を引き出すことを意味する、シェルドン・スクールの教育方針で、これはカントやバカバン・ダスの教育論と一致するものです。

シェルドンは1821年以降ロータリーとの関わりを絶ち、1930年に退会しています。彼は経営学の専門家であり、ビジネススクールの教育者であって、如何に合理的な企業経営をして事業を発展させるかを教えることであり、対社会奉仕にはあまり貢献はしなかったようです。